

令和8年度 上武大学 大学院 経営管理研究科 シラバス

講義番号	授業科目名	財務会計特論 B		担当教員	岩下 尚義		
	英語授業科目名	Financial Accounting B		単 位	2	学 期	後期
対象年次	1・2年次	クラス指定	なし	他との関連	租税法特論 A, B		
履修条件	財務会計の基本的な理解を有していること						
テーマ・副題	会計学の本質的な理解と会計基準の研究・検証						
授業の教育目的・目標	会計は「ビジネスの共通言語」と呼ばれている。会計の本質的な理解を深めることは、会計学の研究だけでなく、租税法や経営学など様々な学問や実務にとって有用である。本授業では前期から継続してIFRSの理解を深めていく。特に個別論点を掘り下げていくことで、総合的な会計力を高めていくことが目標である。						
授業の理解度の到達目標	会計学、特に財務会計は「外部報告目的」の会計である。現行基準の制度を理解するとともに「なぜその情報を報告することが求められているのか」について繋ぎ合わせられることを到達目標とする。						
授業キーワード	財務会計, 企業会計基準, 国際財務報告基準 (IFRS),						
授業の内容	会計学の本質的な理論 (原理) と現行基準の制度について解説する。						
授業の方法	財務会計特論 A に引き続き, テキスト『IFRS 会計学基本テキスト(第8版)』を用いて, 各テーマごとに発表者を決め, レジュメ等にまとめ, 発表・意見交換を行う。						
授業展開	1. 前期の振り返り 2. IFRS⑦ (会計方針, 変更・誤謬) 3. IFRS⑧ (収益) 4. IFRS⑨ (棚卸資産・有形固定資産) 5. IFRS⑩ (無形資産) 6. IFRS⑪ (減損・売却目的の非流動資産) 7. IFRS⑫ (リース) 8. IFRS⑬ (引当金, 退職給付)			9. IFRS⑭ (ストック・オプション) 10. IFRS⑮ (金融商品) 11. IFRS⑯ (ヘッジ会計) 12. IFRS⑰ (法人所得税) 13. IFRS⑱ (企業結合) 14. IFRS⑲ (連結・持分法他) 15. 後期のまとめ			
成績評価方法	発表内容 (60%) および授業への取組み姿勢 (40%) を評価要素とする。						
成績評価基準	総合点が 80 点以上を A、79~70 点を B、69~60 点を C、59 点以下を D とする。						
テキスト	橋本尚・山田善隆『IFRS 会計学基本テキスト(第8版)』(中央経済社, 2025年)						
参考図書	授業の中で指示する。						
準備学習に必要な時間、又はそれに準じる程度の具体的な学習内容	① 発表担当の場合 テキストを読み込み, 理解を深めるとともに, 他者に分かりやすい説明ができるよう準備を進めること。この準備は本授業の学習だけでなく論文作成やプレゼンテーションの練習にも通じる。 ② 発表でない場合 テキストを読み, 意見交換ができる準備をすること。						
学生へのメッセージ	本講義は発表とディスカッションを重視している。よって, 発表する担当箇所だけでなく, 日々の自発的な学修・研究を通じて, 会計力を高めておくことが求められる。活発な議論をしましょう。						
オフィスアワー	授業の前後または下記のメールにより受け付ける。						
連絡先	電話番号	0274-42-2828 (内線: 5407)	メールアドレス:	iwashita@jobu.ac.jp			
人数制限	なし						